

# 関門航路及び瀬戸内海における「海道見守り隊」の協定締結式を開催

- 令和4年7月11日、横須賀港と北九州港間で運行を開始した東京九州フェリー(株)と「海道見守り隊」に関する協定締結式を開催しました。関門航路及び瀬戸内海における「海道見守り隊」の隊員団体は、東京九州フェリー(株)で5社目となります。
- 「海道見守り隊」とは、近年の豪雨に伴う木材流出事象等の教訓を踏まえ、定期船を運航するフェリー船社などの民間事業者等を対象に、不法な水域占用や船舶航行に係る障害物に関する情報提供を定める協定制度で、平成30年度に関門航路及び瀬戸内海や有明・八代海等において創設されたものです。(通報実績:関門航路及び瀬戸内海1件、有明・八代海8件)

日時 : 令和4年7月11日(月) 14時30分より  
 場所 : フェリー「それいゆ」船内

### 式次第

1. 開会
2. 挨拶 副局長 杉中 洋一
3. 概要説明 関門航路事務所長 山村 浩昭
4. 協定締結
  - ・署名
  - ・記念撮影
  - ・東京九州フェリー(株)挨拶  
代表取締役社長 小笠原 朗
5. 閉会



杉中副局長挨拶



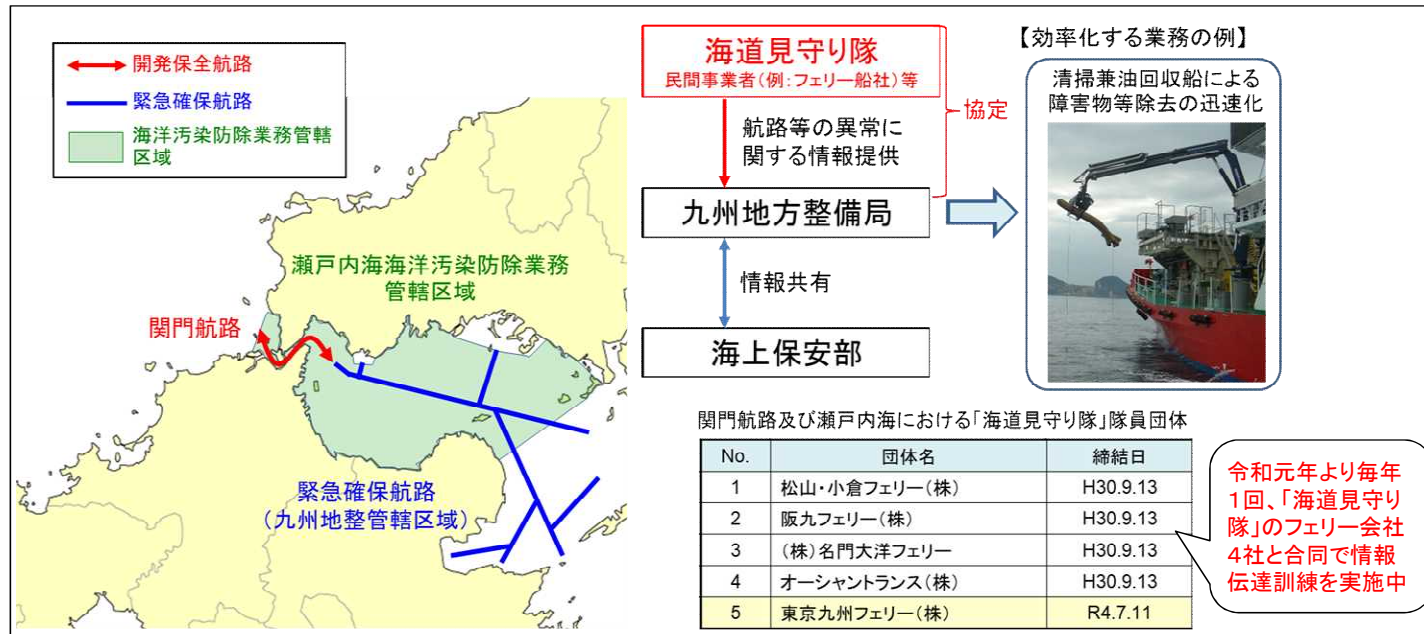
小笠原社長挨拶



記念撮影



記念撮影



「海道見守り隊」制度の概要

令和元年より毎年1回、「海道見守り隊」のフェリー会社4社と合同で情報伝達訓練を実施中